



盆踊りの復活も 各地で夏のイベント

1 / 8月16日、快晴の空にきれいな花火が打ち上げられた久慈納涼花火大会 2 / 8月24日、ガタゴンまつりでガタゴンのたまごのみこしを担ぐ山形小学校の児童 3 / 会場いっぱい大きな輪を作った、山根の日の盆踊り 4 / 8月9日、10日のひらさわプールフェスタでは、高さ12mの巨大ウォータースライダーに子どもたちが大興奮 5 / みたままつりでナニヤドヤラを踊る来場者

納 涼花火大会やひらさわのイベントが、8月に市内各地で開催されました。初開催された2つのイベントでは、以前行われていた盆踊りが復活。夏の暑さに負けない盛り上がりをお見せしました。
長福寺で8月3日、みたままつりが開催されました。寺を身近な場所にしたいと初めて企画。復活した盆踊りでは、来場者が約1時間、境内の松を囲んでナニヤドヤラを踊りました。
8月11日には「山根の日」が山根市民センターで初開催され、郷土芸能の披露や自然を生かした川釣り、射撃体験などが行われました。高齢化や人口減少により行われなくなった盆踊り大会も復活。約70人が会場に大きな輪を作りました。参加した山根来づくり会の立花清一（せいいち）会長は「若者が中心となって開催してくれて、さまざま地域からたくさんの方が来てくれました。毎年のイベントとして定着してほしいです」と目を細めました。

三陸鉄道に乗ってみよう！

8月4日、三陸鉄道乗り方教室が開催され、侍浜中学校の文化部5人が三陸鉄道への乗り方や車両について理解を深めました。

生徒は久慈駅の畑田健司（けんじ）駅長から、切符の購入や乗車の仕方の説明を受け、車両に乗車。三陸鉄道の歴史や車両の違いなどを学びながら普代駅までを往復し、道中の景色を楽しみました。車掌アナウンスや開業当初に使われていたハサミでの切符切りなども体験。特別な体験に生徒は目を輝かせました。

1年生の中川ひなのさんは「初めて乗車しましたが、景色もよくて楽しかったです。きょうだいにも乗り方を教えて、一緒に乗りたいと思います」と声を弾ませました。



開業当初行われていた切符を切る体験をする生徒



発車前に扉を閉める仕事を体験



皆さんの写真を広報に掲載します

- ▶ 撮影条件…未就学の子どもやペット、結婚などのお祝い事や久慈に関係する写真※紙面の都合により掲載されない場合があります。ご了承ください。
- ▶ 応募方法…氏名（ペンネーム可）、住所、撮影日・場所、写真のタイトル・説明を記入し、メール送付かデータを持参

固地域づくり振興課 ☎52-2116

matizukuri@city.kuji.iwate.jp

